

平成17年度松戸市次世代育成支援行動計画実施状況

1 進捗状況

既に着手された事業は38事業のうち全体の29事業で、全体の76.3%が予定どおり実施されていることとなります。

2. 平成17年度の主な実施事業

子どもの成長を支援します

・情報教育の推進

IT時代における適切な情報教育環境と機会を確保するため、関係機関の連携強化を図るとともに、学びの情報ネットワーク化を推進するためのインフラ整備を進めました。

・育児支援家庭訪問サービスの創設

児童の養育について、社会的な支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状態にある家庭に、支援員を派遣し安定した養育ができるように育児支援家庭訪問事業を開始いたしました。

子育てを支援します

・放課後児童クラブの整備

すべての地域に放課後児童クラブが確保できるよう、学校や幼稚園等の社会資源を活用して、整備をおこなっていきます。本年度については馬橋放課後児童クラブの移設・小金北放課後児童クラブの増設を実施いたしました。

・つどいの広場

乳幼児を養育する保護者のストレス等を軽減するために地域の親子が気軽に集える場をタウンスクール根木内及び松戸市健康福祉会館（ふれあい22）内に確保し、親子の交流や育児相談、サービス情報の提供等を実施しました。

・妊娠期からの継続した学習の取り組みの普及事業

子どもの成長に応じた子育て学習の機会（特に個人差が顕著となる思春期の子どもとの関わりについて）を確保するため、家庭教育学級を開催いたしました。

・保護者の性教育の推進

大人が性についての正しい知識を子どもに伝えられるようになるため、保護者を対象にした子育て関連講座等をとおして啓発を実施しました。

ひとり親家庭の経済的自立を支援します

・ひとり親家庭の就労支援

ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、就労意欲の醸成、就労に役立つ技術等支援、就労の斡旋を実施しました。